

10 ME と ECI 記録の基礎知識

10-2) 使用する電極は何がよいでしょうか？

脳死判定脳波検査で使用する電極は、普段から使い慣れた電極を使うことが良いでしょう。法的脳死判定脳波記録にだけ使うような特別な電極といった準備はあまりお奨めできません。市販されているシールド(銀/塩化銀)皿電極は、コード長が短く断面積を小さくして交流雑音などのアーチファクトが軽減できる工夫を施した良い電極ですが高価です。本番まで大事に保管しておく、というのでなくポータブル検査などに利用して練習しておくとい良いでしょう。

また法的マニュアルにも下記のように書かれています。

①コードに番号を付ける、②異なった色を利用する、

それに加えて③ 2-3)で備品準備品の写真で例示していますが、左右を分別しておく、同色を同位置、電極名シールを貼るなどのちょっとした工夫を施すことで本番でのミスを少なくできるコツといえます。

6 歳以上では針電極の使用も差し支えありません。熱傷などで頭皮の状態が悪くて皿電極の使用が困難や皮膚研磨できない場合などには針電極使用も選択肢の一つです。それでも針電極を使って脳波を記録したことがない場合には十分な配慮が必要です。普段から時々使用して経験を積んでおくのが良いでしょう。針電極記録が予想されるなら、可能であれば、『脳死とされうる状態』記録の前段階で試行してみるのも一つの方法かと思います。

また、法的脳死マニュアルでは、

針電極使用には接触抵抗の測定は行わない

となっています。